

第3号議案 令和3年度事業活動計画（案）に関する件

令和3年度事業活動計画（案）

1 基本方針

- 昨年度につづき法人の経営基盤安定と体制づくりに注力する一年とする。
- 障害福祉サービスは、コロナ禍の中でも支援提供の継続性が求められている。引き続き感染対策を徹底するとともに、陽性者が出たときの業務継続計画を立て、途切れない支援ができるようにする。
- 法人イベントは「新しい生活様式」に沿った形で、規模などを再検討して方向性を決める。
- 会員数、寄付者数の目標値達成のため、具体的な戦略を練り実行する。

2 事業

- (1) 障がい者就労支援事業所ワークショップようてい の運営 【個別事業計画1】 参照
- (2) グループホームよろこび の運営 【個別事業計画2】 参照
- (3) K.S.C Juntos の運営 【個別事業計画3】 参照

3 活動

(1) 精神疾患や障害に関する理解と交流、広報活動

<講演会・研修会・交流活動>

- みんなで学ぼうシリーズ…コロナ感染状況を確認しつつ、再開を検討する。
再開時は、毎月第2水曜日の開催固定化し、倶知安厚生病院への協力依頼をおこない、協力開催とする
- 地域の支援者のスキルアップ企画として「たね塾」を開講する
月1回（5月～11月）、全7回の予定
今年度も募集定員は10名と縮小する。
- 地域の支援者向けのWRAP「くらっぴ」は、会場変更を視野に入れ開催を検討する
開催時は、偶数月第4水曜日を継続する。

<広報活動>

- 通信ともへの発行
障がい者情報の発信と法人活動の現状を伝えるため、定期的な発行を目指す
- インターネット媒体の充実
ホームページ、ブログなどの随時更新につとめる

(2) 地域内外の福祉関係団体と連携する活動

- 羊蹄山ろく地域自立支援協議会 定例会に出席
 - ・ 相談支援事業担当者会議
 - ・ 地域活動支援センター夢の匠サポート部会
- 就労支援部会
- 知ってる会?
- 障がい者地域包括ケアシステム検討会
- 羊蹄山麓障害支援区分認定審査会（推薦）隔月
- 後志圏域地域生活移行支援協議会（委嘱）
- 「倶知安町福祉フォーラム」参加
- 後志圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会（委嘱）
- 後志保健医療福祉圏域連携推進会議（委嘱）
- 倶知安町障害者施策推進協議会（推薦）
- 一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会 理事
- 一般社団法人 北海道中小企業家同友会 しりべし・小樽支部 会員

(3) 講師派遣活動

- 法人理念に照らし検討の上積極的に協力する

(4) 組織の運営安定化、拡充活動

- 賛同していただける会員・寄付者を増員させる活動を進める
- 正会員 20 人以上、賛助会員は団体、個人合わせて 80 人以上を目指す。
- 寄付金の目標人数をのべ 20 人以上とする

(5) 助成金活用

- 利用者の作業活動等向上および業務改善を目的とした助成金活用を検討、申請する
- そのひとつとしてワークショップようていの除雪機更新に向けた申請を目指す

(6) 認定NPO法人活動

- 寄付額に目標を定め、税金還付の利点を活かして寄付金獲得に努める

(7) 「わっくわく」地域開放の取組み

- 来年度以降の実行に向け、検討を重ね整備をすすめる

(8) 借入金返済について

- 法人の黒字化をめざし計画どおりの返済を行う

(9) 職員の働く意欲向上について

- キャリアパス制度の研修制度および評価制度を再構築し、制度の充実を図る
- 福利厚生を充実し、働く環境の整備をめざす
- 職員が「自分もここを利用したい」と思えるような各事業をすすめる

(10) 防災対策について

- 新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底する
- 火災訓練を年 1 回以上実施するのに加え、各事業所で防災教育をおこなう
- 地震、洪水を想定した防災訓練を年 1 回以上事業所ごとに実施する

【個別事業計画 1】

令和3年度

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい（WS） 事業活動計画（案）

1 基本方針

- 事業所の体力に合った事業計画にのっとり、充実した支援を図る
- 各職員の役割を明確にし、責任とやりがいを持つことができる事業所を目指す

2 就労移行支援のサービス提供について

- 積極的な一般就労を目指す支援をおこない、今年度も就職へ向けた支援をおこなう
- 実践的なトレーニングプログラムを継続する
履歴書添削、ハローワーク同行、トレーニングプログラム研修の実施ほか

3 就労継続支援B型のサービス提供について

- 他機関に働きかけ、新規継続支援B型利用者の増加を図る
- 利用者の目標工賃平均月額1万円以上、時給額300円以上を維持する

4 事業運営の安定化について

- 利用者数の維持および利用日数の増加をめざす
- 事務局と連携し、事業の広報活動をすすめる

5 非常災害・防災対策について

- コロナウイルス感染症もひとつの「災害」としてとらえ、ふだんからの対策とともに、感染者が出た際の対応についてマニュアル化する
- 地震および洪水を想定した防災訓練、住居ごとの火災訓練を各1回ずつ実施する
- 防災設備の操作を周知徹底する

6 職員の資質向上について

- 年間計画に沿って研修をおこない、支援技術の研鑽につとめる

7 その他

- 就労定着支援事業化のための具体的計画を立てる

【個別事業計画 2】

令和3年度 グループホームよろこび（GH） 事業活動計画（案）

1 基本方針

- 当事業所の理念のもと、入居者の自立支援を継続する
- 各職員の役割を見直し、明確にしながら責任とやりがいを持てる職場運営をすすめていく

2 サービスの提供について

- 定期的な支援会議をおこない、定着化していく
- 関係機関との継続した情報共有が支援活動に反映できるようにする

3 事業運営の安定化について

- 法人事務局と連携し、人事・広報・会計における体制づくりをすすめる

4 非常災害・防災対策について

- 感染症対策については日常からマニュアルに沿っておこなっていくと同時に入居者への意識づけを定着させていく
- 災害に対する防災訓練、火災時の火災訓練を各 1 回おこない入居者への意識づけをさらに図っていく

5 職員の資質向上について

- 感染予防をしながら積極的な所内研修に取り組み支援力の向上をめざす
- 感染予防等確認のうえ、外部事業所の研修を検討する

6 入居者利用料の収支報告および清算について

- 利用料規程に則り個別に承諾を得て実施する
- 「家電製品更新・修繕積立金」の計画的な更新・修繕をおこなう

【個別事業計画 3】

令和3年度 K.S.C. Juntos 事業活動計画（案）

1 基本方針

- 登録選手がスポーツを通じて自分の生活を充実できることを目指す
- サポートスタッフの役割を明確にし、活動が持続できるような体制づくりをすすめる
- フットサルはじめスポーツをすることの楽しさ、やりがいを伝える

2 活動目標

- サポートスタッフを充実し、体制作りをすすめる
- 継続した練習や練習試合ができるよう、活動場所の確保につとめる
- 感染症対策を万全にし、練習や大会に参加する
- とともにカップの開催に向けて検討を続ける

3 活動計画（感染症の状況により延期、中止の場合あり）

日付	名称・内容	開催地（予定）
不定期	自主練習	選手各自
7月3日	北海道チャンピオンズカップ	北ガスアリーナ札幌 46
秋ごろ	第5回ソーシャルフットボールともにカップ	未定
12月18日	ソーシャルフットボールサポーターズカップ	札幌市北区体育館

※その他練習試合など